

全日本教職員組合 養護教員部ニュース

2018年4月

No.126

発行：情宣部



2018年度は日本の未来にとって大きな岐路になる



1. 軍拡と大企業に奉仕し、アメリカとともに「戦争する国」づくりをすすめる予算

安倍自公政権は6年連続で過去最大となる総額 97兆7128億円（前年度当初比0.3%、2581 億円増）の2018年度予算を成立させました。大企業優先で庶民の暮らしに冷たい「アベノミクス」を継続し貧困と格差をいっそう拡大するとともに、安倍9条改憲の動きに合わせた大軍拡路線をひた走る予算です。一方、国民の生活に密着した医療・介護・年金は改悪し、教育・農林水産・中小企業等の予算も軒並みマイナス予算となっています。

国の一般歳出に占める文教予算の比率は、2012年度 7.93%から第二次安倍政権の発足以降毎年減り続け、18年度には6.87%となりました。35 人以下学級推進や教職員定数改善には背を向け、子どもたちを競争に駆り立て、管理・統制する安倍「教育再生」をいっそう押し付ける教育予算となっています。教職員定数については、新学習指導要領の円滑な実施と学校における働き方改革と称して、小学校英語の専科指導教員1000人や共同学校事務体制強化に40人などに合計1595人の定数改善を盛り込まれています。養護教諭については栄養教諭と合わせて全国で20人という加配措置となっているのみです。

2. 文科省の「学校における働き方改革」

文科省が 2016 年度に実施した勤務実態調査では、養護教諭の勤務時間は、平日 1 日あたり小学校で 10 時間 7 分（2006 年度より 29 分増）、中学校で 10 時間 18 分（同 17 分増）という結果になっています。1 日あたり平均で 2 時間 30 分前後の時間外勤務をしていることとなります。給特法で教育職員には時間外勤務は「原則として命じられない」とされています。労働基準法が「使用者は、労働者に、休憩時間を除き一週間について 40 時間を超えて、労働させてはならない」としていることに沿ったものです。

勤務時間内で仕事が終わられるためには、教職員の定数増と文科省の競争と管理の教育政策を転換させることが不可欠です。現在進められている安倍政権による「働き方改革」は、時間外労働を過労死ラインまで「合法化」する過労死促進の「働かせ方改革」でしかありません。

3. 安倍 9 条改憲にストップを

3 月 25 日、自民党は大会で安倍晋三首相が自衛隊を 9 条に明記する改憲を示しました。安倍首相は「自衛隊明記によって違憲論争に終止符を打つ」と主張しています。自民党の 9 条改憲の条文案は 9 条 1 項、2 項は残すとしていますが、条文案の新しい項目で「自衛の措置」をとるために「自衛隊を保持する」としており、「自衛の措置」には個別的自衛権だけではなく、集団的自衛権も含まれることとなります。自衛隊が海外で武力行使を行い、日本がアメリカと一緒に戦争する道に踏み出すこととなります。

（米田 雅幸）

中部ブロック学習交流集会



11月18～19日、長野県浅間温泉で開催されました。会場に入ると「集え！信濃地に」の力強い文字が飛び込んできました。一日目 本部役員から「情勢と養護教員部のとりくみ」の報告、長野県教職員組合保健研究会から「運動器検診2年目に伴う各校の実態調査」報告、情報交流会を行いました。

長野の実態調査は、運動器検診の事前準備について、医師との打ち合わせについて、検診での生徒、職員、保護者への説明についてなど、綿密な調査報告でした。また、運動器検診においてサポートドクターの配置が1校あったと報告がありました。情報交流会では、専門部交渉や、組織拡大のとりくみ、組織が抱えている問題について話しあいました。長野は複数配置が進んでない状況があること、岐阜は教員採用試験に向け組合での対策講座を行っていること、愛知では、妊娠時の加配を複数配置校でも拡大する要求について、富山ではオーディオメーターの定期検査を要求し実現したことなどです。二日目 伊那中央病院 北澤 公男医師による「災害時救助の実態 DMAT の活動報告より」の講演がありました。災害現場の医療活動を知ることができ、またトリアージの「ほ・て・と・こ法」ほ＝自立歩行、こ＝自発呼吸、と＝橈骨動脈触知、て＝従命反応の教えを受けました。実習では患者になったり模擬トリアージをしたりと学ぶことが多くありました。一日目の夕食交流会では、信濃の味を堪能し、長野の皆さんが考えてくださった楽しいゲームをし、心温まるおもてなしを受けました。（飯田 尋子）

中国四国九州ブロック学習会

11月25～26日に島根県松江市で開催しました。

1日目には、前全教養護教員部長で「NPO法人おおさか教育相談研究所」相談員の齊藤小百合先生による記念講演「つながろう・つなげよう～保健室から」を行いました。ご自分の養護教諭としての体験談を交えながら、保護者の思いを理解すること、保護者と一緒に子どものことを考える姿勢を大事にすることが相談の基本であることなどが語られました。参加者からは「子どもの声を発信し続けるということが保護者を動かし、教職員を動かす力となるという実践に勇気づけられた。子どもの可能性を信じ、親の話をしっかり聞くことをこれからも続けたい」「子ども、保護者の気持ちをしっかり受けとめたい」等感想が寄せられました。夕食交流会では、島根県の方が踊る優雅なフラメンコを見ながら食事をし、交流や情報交換を行い、楽しいひと時を過ごしました。



2日目の分科会では、2つのグループに分かれてレポート発表を聞いた後、それぞれ議論を行いました。第1分科会は、小中学校における保健指導のレポートが出され、エプロンシアターなどの手づくり教材も紹介されました。第2分科会は、高校での健康教室のとりくみで、地域関係機関と連携した小集団指導の報告がありました。どちらも時間いっぱいまで指導内容の検討や新しいアイデアなどを出すなど討論を深めました。（田中 有里子）

総括アンケートにご協力ありがとうございました！

年度末のお忙しい中、2017年養護教員部の総括アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。組織強化のとりくみでは、養護教員部総会や大会の開催を5月から7月の土曜日に開催にしている組織が多くみられました。組合員の拡大では、学習会や夏学の案内や参加の呼びかけが、仲間を増やす機会になっています。

定数増署名については、各組織目標署名数を決めてとりくんでいます。養護教員部だけでなく他団体にも協力を依頼してとりくんでいる組織もあります。

教育委員会との交渉では、養護教諭の定数増、繁忙期や妊娠時などの加配について多くの組織で重点項目として要求しています。埼玉や和歌山県では、改定健康診断による現場の混乱の改善をあげました。

学習活動は各組織で積極的に行われています。北海道では、子どもの貧困現状、青森は教育とケア、宮城高ではスクールソーシャルワーカーとの連携、富山高と山口では養護教諭の執務、岐阜と埼玉高は性別でみる多様性と人権をテーマにとりあげました。

健康を守るとりくみでは、各地区で衛生委員会の設置はすすんできましたが、体制には課題があります。大阪では、教職員のB型肝炎・インフルエンザ予防接種は公費負担です。

多忙な中ですが、各組織においては組織の状況にあった活動を工夫しながら、「組合だからこそできるとりくみ」を積極的に展開しました。（島田 玲子）

定数増署名のとりくみ

養護教諭の全校配置・全課程配置を！ 養護教諭の複数配置を！

定数増署名にご協力いただきありがとうございます。昨年度は、4万3400筆を文部科学省交渉の際に直接届け、養護教諭の全校配置・全課程配置、複数配置を訴えてきました。

各組織では、「全学校の養護教諭あてに依頼した」「組合員のいない分会にも分会長あてに依頼した」「他団体へも直接渡して協力依頼した」など、専門部員以外にも幅広く依頼したり、各組織の定数増の要求書と一緒に印刷するなど工夫して署名活動にとりくんでいます。その結果、今年3月31日現在で1万1275筆が集まっています。この一筆一枚の署名が国を動かし、私たちの要求をかなえることにつながります。

署名用紙は、全教ホームページからもダウンロードできるようになっております。締め切りまでにはまだ時間がありますので、一筆でも多くの署名をみなさんの協力で集めましょう。集まった署名用紙は、忘れずに期日までに全教まで送ってください。



署名最終締め切り 6月総会です。

この夏はみんなでお福島へ

震災から7年。今年は福島で開催します！

保健室からの発信

In 福島

2018 夏の全国学習交流集会

福島の地に足を運び、福島第1原発の被害を忘れることなく、原発ゼロへの思いを新たにしましょう。

と き：2018年7月28日・29日

ところ：福島県穴原温泉 吉川屋

記念講演

愛着障害と子どもたち

～子どもを育むために

学校・保健室でできること～

講師 東京医科大学茨城医療センター

科長・准教授 榎屋 二郎 さん

自主講座

子どもたちのためにできること

～保護者とともに放射能と向き合って～

講師 さくら保育園（社会福祉法人 わたり福祉会）

園長 安彦 孝 さん

☆30日にオプション「福島被災地フィールドワーク」（福島駅→被災地巡検→仙台空港→仙台駅）を計画しています。

最少催行人数は30名、費用は4000円前後の予定です。

☆要項を5月中に発行します。みなさま、お誘いあわせてご参加ください。

～たくさんの参加で集会の成功を目指しましょう～



今後の予定

6月10日（日） 第28回定期総会 於：東京 全国教育文化会館地下1階

JR 市ヶ谷駅、四ツ谷駅下車徒歩7分

東京メトロ有楽町線麴町駅下車徒歩2分 日テレビル向かい

6月11日（月） 中央要請行動（文部科学省交渉、厚生労働省交渉）

7月28日（土）29日（日） 2018全国夏の学習交流集会in福島

11月11日（日） 第29回全国委員会 於：東京 全国教育文化会館

11月12日（月） 中央要請行動（文部科学省交渉、議員懇談）

【署名提出のお願い】 養護教諭の大幅定数増を求める要求署名

最終締め切り 2018年6月総会当日